

2021年度 日本工学院専門学校											
声優・演劇科											
ヴォーカルⅤ											
対象	2年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	結城安浩			実務経験	有	職種	歌手、ヴォイストレーナー				
授業概要											
俳優、声優に必要な技術や考え方を「Design a voice method」（声をデザインする方法）で習得する											
到達目標											
レッスンやトレーニングを通して、自分の特性を理解し、環境に柔軟に対応できる俳優、声優を目指す											
授業方法											
基礎トレーニングや反復練習を日常化し、目視できないメロディーやリズム、メッセージなどを抽象的に想像するだけでなく、具体的にグラフに表し可視化することで、イメージを具現化する											
成績評価方法											
授業やレッスン時の発表、トレーニング時の動きの理解度や成長度伝える											
履修上の注意											
毎日の継続的な基礎トレーニングをする。様々なジャンルの音楽鑑賞と研究する。 日々の生活の中で言葉や歌詞に対しての興味を持ち、伝えるという事を常に考える。											
教科書教材											
課題曲音源、歌詞、資料等											
回数	授業計画										
第1回	歌の上達方法と歌の細分化について										
第2回	個別ミーティング（現在の能力、レッスンの目的、将来の目標の共有）										
第3回	リズム感とは何か？バウンストレーニング（リトミックトレーニング）										
第4回	歌における母音の重要性、子音の種類と特性										
第5回	母音フォームの構築、舌根トレーニング										
第6回	スクエアとシャッフルの感じ方の違い										

2021年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科	
ヴォーカルⅤ	
第7回	ブレスで作るテンポとグループ
第8回	腹式呼吸と胸式呼吸の違いとその特性、全肺気量、肺活量、残気量、予備呼吸量について
第9回	呼吸筋の主な種類とトレーニング方法 肺活量の増やし方とブレスコントロール
第10回	オンビートとアフタービートのブレス
第11回	ブレスと発声の関係（ホールドの重要性）ポジションという考え方
第12回	音の捉え方（重心のコントロール、体幹の安定） 現在のレンジの認識と拡張
第13回	声区の認識とレンジによってのポジションの取り方（発声の準備）
第14回	上昇するメロディー、下降するメロディーのそれぞれのポジション
第15回	課題曲のメロディーに対して、実践的なブレスプランとポジションの構築